

令和5年度「AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金（新技術を用いたサプライチェーン全体の輸送効率化推進事業）」に係る補助事業者の1次公募の結果について

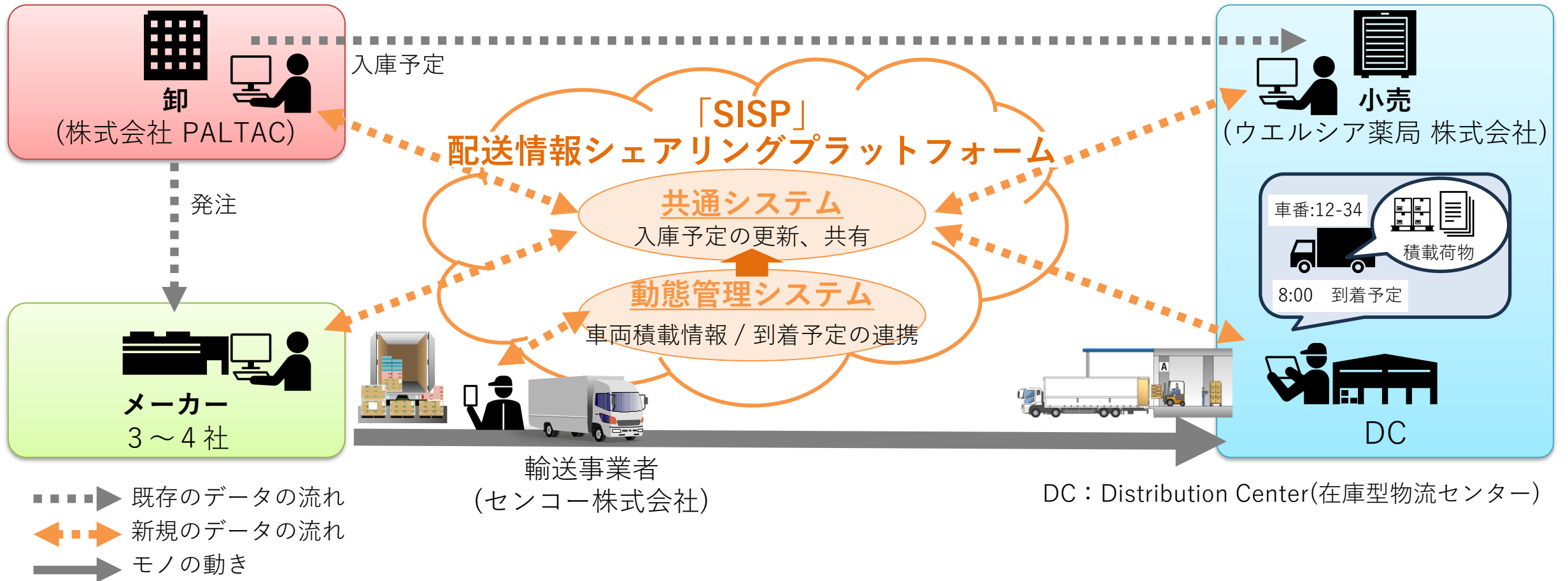
令和5年度「AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金（新技術を用いたサプライチェーン全体の輸送効率化推進事業）」に係る補助事業者について、令和5年6月9日から7月7日まで公募を行い、応募のあった提案について、第三者で構成される審査委員会による厳正な審査を行った結果、次のとおり補助事業者を決定しましたのでお知らせいたします。

事業者	ウエルシア薬局 株式会社
事業名	配送情報シェアリングプラットフォームを利用したエネルギー消費削減実証事業（入荷業務効率化）
補助金額	20,200,000円（補助率1/2 ※令和5年度のみ補助額）
事業の特徴	ドラッグストア業界において、複数企業間での商流から物流までの管理共通化の試行と評価を実施します。従来の輸配送最適化である荷姿を起点とした輸送の効率化ではなく、商品情報に紐づく荷物情報の共有とコントロールを行うことで、より精緻で高度な物流全体の効率化を可能とすると共に、他事業者間、更には業種を超えた物流ネットワークの構築への発展を見込む事業です。 (事業実施期間は2か年を予定)
省エネ率	▲ 1.17%の省エネ効果を見込む

配送情報シェアリングプラットフォームを利用した エネルギー消費削減実証事業（入荷業務効率化）

事業の概要

卸が小売のDCに納品するまでの業務において、正確な在庫予定情報を共有することにより、DCの入荷業務を効率化(効率的なバース計画や検品業務の負荷軽減)します。
入荷業務の効率化による、DCの車両の滞留時間(受付後の待機時間、荷降り待ち時間)の削減や、運行の効率化による、納品車両の台数削減を行うことで、エネルギー消費量の削減をめざします。



事業全体計画と参画企業

本事業は令和6年度までの複数年を予定し、情報共有の仕組みの確立と業界への普及を図るための運用検証を重ねていきます。

項目	令和5年度	令和6年度
運用スキームの検討と検証	運用方法検討 → 検証評価方法検討 → 検証	
システム開発	要件定義 → 開発 → 運用テスト	開発 → 運用テスト
適用範囲拡大に向けたサービス機能拡充		横展開検討 → 適用範囲拡大

小売(着荷主)、卸(発荷主)、輸送事業者が共同し、入荷業務効率化によるエネルギー消費量の削減に向けた検証に取り組めます。

